

編 集 後 記

- ここに『西南学院史紀要』第5号をお届けいたします。ご多忙の中、執筆にご協力くださいました諸氏に心よりお礼を申し上げます。それぞれの記事が「建学の精神を明らかにするために…西南学院の歴史を記録する」という本紀要の第一義的使命に資する豊かな内容であることを嬉しく思います。
- 昨年10月31日（土）、西南学院大学総合グラウンド「田尻グリーンフィールド」が全面的にオープンしました。今号は、この大学総合グラウンドのオープンを記念して、「西南学院とスポーツ」を特集にしています。私もオープンの式典に参加して、その施設の立派さ、その広大さ、快適さに目を見張りました。実は、午後、そこにあるクラブハウスの一室で、本号の座談会が予定されていましたので、その開始までの少しの時間、たまたま暑い日差しの中、練習に励むラグビー部員の様子を目の当たりにしました。そして女子マネージャーが、ひと練習ごとに選手たちのもとに走り寄り、きびきびと水分補給のサポートをする様子も初めて目にしました。
- 新約聖書の中で、パウロは、信仰の馳せ場を競技に喩え、勝利の冠を得るために「競技をする人は皆、すべてに節制します。」（Iコリント9：25＝新共同訳）、「むしろ、自分の体を打ちたたいて服従させます。」（同9：27）と言っているのですが、パウロも、競技だけでなく、私が見たように、練習に励む選手たちが吐く荒い息と滴る汗を見ていたのかも知れません。
- 今回の特集で、個人的に教えられ、知ったことは少なくありません。特に、スポーツクラブをボランティアで支えておられる指導者（部長・監督・コーチ等）の存在に深く心を動かされました。前述のラグビー部の練習場にも、部長・監督・コーチ、そしてかつての部長がおられました。有り難いことだと思います。
- この4月より本館4階に学院創立100周年記念事業に向けて「100周年事業推進室」が立ち上げられました。これに伴い6年後の西南学院百年史発刊に向けて新たな委員会の活動が始まります。「学院史資料室」で、資料の整理に2年半ご尽力くださいました篠崎珣氏がこの3月をもって退職されました。これまでのお働きに心から感謝を申し上げます。本当にご苦労様でした。（小林洋一）

2010年5月10日 印刷

2010年5月14日 発行

編 集 西南学院百年史編纂準備委員会

発 行 学校法人西南学院

〒814-8511 福岡市早良区西新6丁目2番92号

印 刷 福岡印刷株式会社

〒810-0001 福岡市中央区天神3丁目4番3号